

2023年1月31日

Virtus グローバルゲームス ヴィシー2023  
水泳日本代表推薦選手推薦方針と選考基準について

(一社) 日本知的障害者水泳連盟

#### 派遣方針

日本パラリンピック委員会(以下、JPC という)が定める日本選手団編成方針に基づいて、日本代表選手行動規範の遵守、協調性や調整能力の重視など、日本代表にふさわしく、かつ Virtus グローバルゲームスの参加基準および当該連盟が定めた基準を満たす選手を推薦する。また、ロス 2028、ブリスベン 2032 など今後のパラリンピックを見据え、次世代を担う若手選手の育成機会を兼ねる。

#### 選考方針

上記大会において、メダル獲得が有望視される選手を派遣対象とする。ただし、原則として、派遣はマンチエスター2023WPS 世界選手権とは兼ねない。

#### 1. 推薦選考基準

- (1) Virtus 国際ライセンス登録が申請中もしくは済んでいること
- (2) 2022年1月1日以降の WPS 公認大会にて最低資格基準(MQS)を突破していること
- (3) JPC の定める医学的観点を満たせるもの
- (4) 2022 年度に実施された、下記の WPS 公認長水路大会にて、別途連盟が定める「推薦基準記録」を突破した各種目上位 3 名以内の選手を「Virtus グローバルゲームス ヴィシー 2023 日本代表**推薦候補選手**」とする。なお、予選・決勝がある大会は決勝の記録のみを採用し、各選手の最速記録のみ採用する。
  - ・マデイラ 2022 世界パラ水泳世界選手権大会
  - ・第 25 回日本知的障害者選手権水泳競技大会
  - ・ジャパンパラ水泳競技大会
  - ・Virtus オセアニア・アジアゲームズ 2022
  - ・第 39 回日本パラ水泳選手権大会
  - ・第 6 回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会
  - ・2023 日本パラ水泳春季チャレンジレース
- (5) (4) で推薦候補選手となった選手に優先順位をつける。優先順位は各種目の推薦基準記録の到達率の高い選手から順に順位づけをする。
- (6) (4) の選手の中で同順位であった場合、2 種目目以降の推薦基準記録の到達が高い選手から順位づけをする。

- (7) 優先順位の中で、上位から派遣人数枠までが推薦選手となる。
- (8) (4) に該当する選手の国際ライセンスが申請中の場合は「保留扱い」とし、2023 年 3 月上旬までに国際ライセンス申請を提出し、参加要件を満たした場合は推薦選手となる。
- (9) 推薦選手としての正式決定の時期は、JPC 日本代表選手団編成方針等の公表後に決定し、連盟ホームページにて発表する。

(10) 選考に前後して必要な準備と日程

推薦選手が決定される前後に、対象となる選手は準備として Virtus、JPC、連盟に対して様々な手続きが必要である。概ねその時期や、提出書類及びその対象選手は下記に示す通りである。手続きに必要な書類を理由なく期限までに提出しない選手は、選考を辞退したものとして取扱う。

2022 年 12 月

- ① 2023 年の Virtus 国際ライセンス登録

2023 年 2 月

- ① アクレ申請手続き（時期未定）
- ② メディカルチェックの提出（時期未定）

2023 年 3 月以降

- ① 推薦選手の決定（時期未定）
- ② エントリー種目等調査（時期未定）
- ③ エントリー種目等締切（時期未定）
- ④ ユニフォーム採寸等手続き（時期未定）
- ⑤ 派遣選手の決定（時期未定）

- (11) 上記に該当しない事案が発生した場合は、選手選考委員会にて検討する。

以上